



# 決算説明資料

2023年3月期 第1四半期

株式会社エスクリ



## 2023年3月期 第1四半期の業績

第1四半期は、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の発令無く事業展開。売上・利益ともに想定どおり進捗。前期対比でも売上・利益ともに改善。

売上高	55.1億円（前期比105.7%、対前期+2.9億円）
経常損益	0.1億円（前期は5.5億円の損失、対前期+5.6億円）
当期純損益	△0.4億円（前期は4.1億円の利益、対前期△4.5億円）

## 2023年3月期の取り組み

更なるコスト削減のため本社移転を決定。2022年8月より営業開始。

## 受注残件数の状況

2022年6月末時点の受注残件数は4,156件（2021年6月末比82.5%）

## 1. 2023年3月期 第1四半期決算の概要

連結損益計算書の概要	……5
連結業績推移	……6
セグメント別業績の概要	……8
ブライダル関連事業の状況	……9
連結貸借対照表の概要	……11
財務状況の推移	……12
新型コロナウイルス対応（決算面）	……13

## 2. 業績予想および今後の見通し

新型コロナウイルス感染者数・ワクチン接種数	……16
受注数・単価の推移	……17
2023年3月期 連結業績予想	……18

## 3. 2023年3月期の取り組み

ニューノーマル時代の働き方に合わせ本社を移転	……20
GOOD WEDDING AWARD 2022 準グランプリ受賞	……21
フル・オンライン・パッケージの運用を開始	……22
ウエディング・テック（Wedding×Technology）	……23
新型コロナウイルス関連施策	……24

## 4. 補足資料

会社概要	……27
ESG関連	……33
市場動向	……37
エスクリの特徴	……42
建築不動産事業	……54

# 1. 2023年3月期 第1四半期決算の概要

# 連結損益計算書の概要



単位：百万円	2022/3期 1Q実績	2023/3期 1Q実績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	5,219	5,517	298	5.7%
売上原価	2,554	2,274	△ 280	△11.0%
(原価率)	48.9%	41.2%	-	-
売上総利益	2,664	3,242	578	21.7%
販売管理費	3,254	3,380	126	3.9%
営業利益	△ 590	△ 138	452	-
経常利益	△ 554	8	562	-
当期純利益	412	△ 45	△ 457	-

## 売上

ブライダル関連売上は単価の増加により前期と比較し7.9億増加（18.7%増）

## 売上原価

原価率の低いブライダル関連事業の売上高増加により原価率が改善

## 損益

営業損失 △1.3億

コストコントロールを徹底 ※P.14参照

- ・ 広告宣伝費の削減（出稿量コントロール）
- ・ 人件費の抑制（残業抑制、休業等）
- ・ 家賃の減額交渉

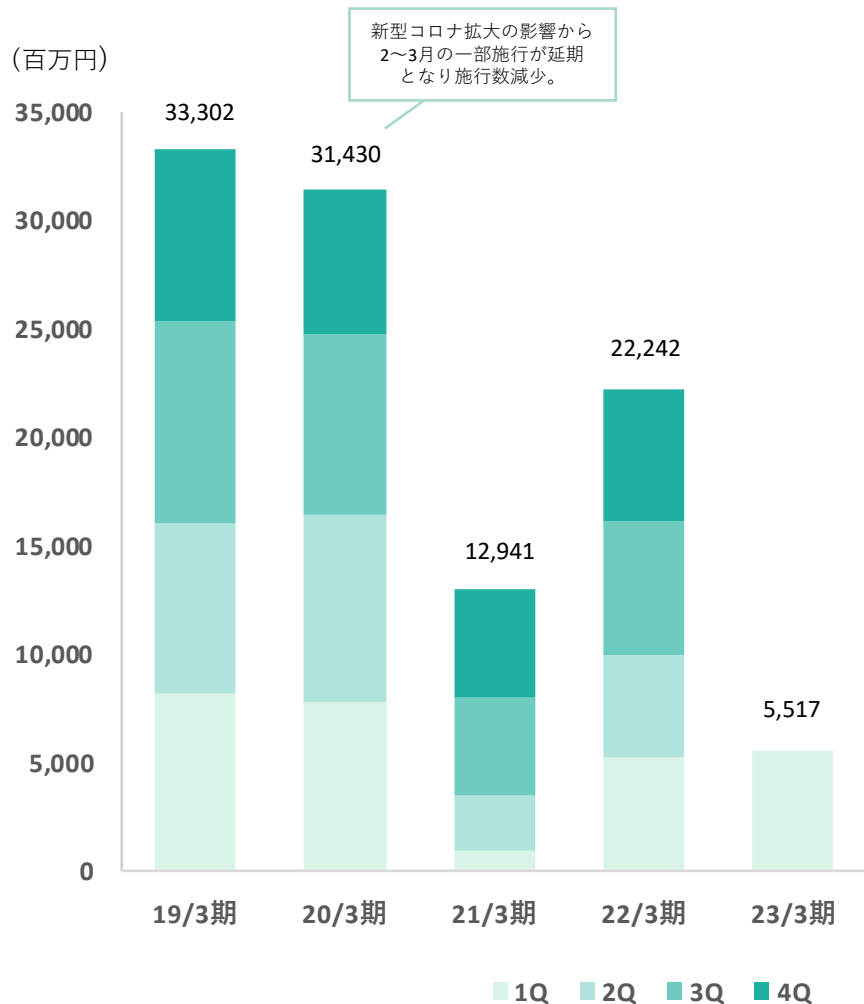
助成金収入（営業外収益） 2.1億

感染防止等協力金及び雇用調整助成金

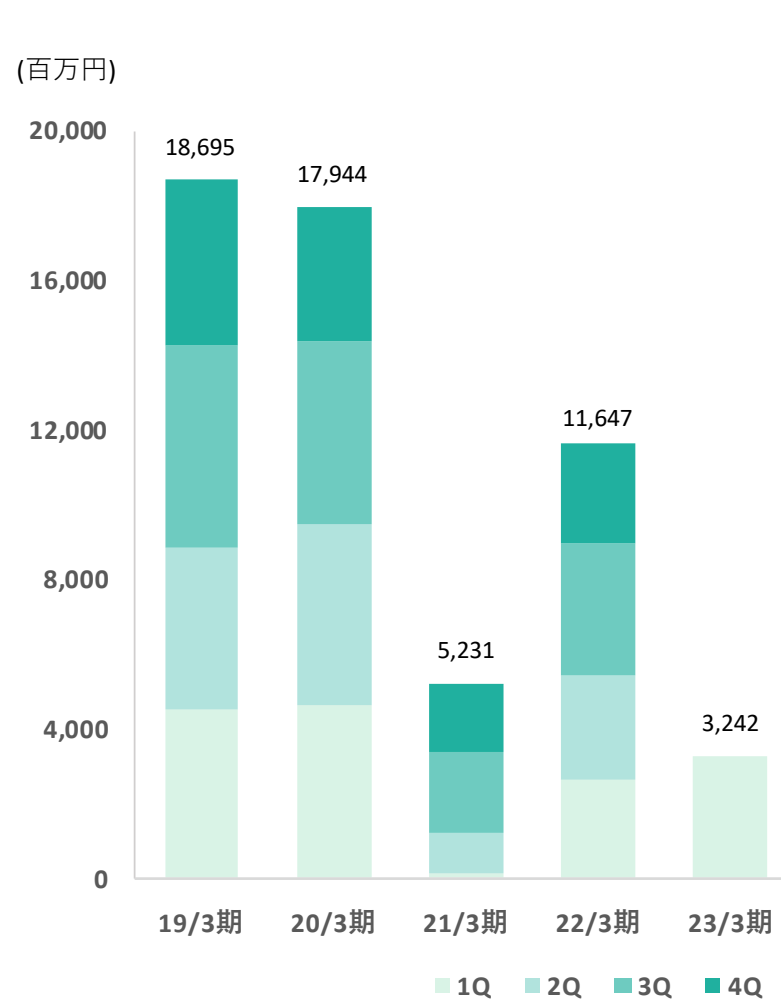
# 連結業績推移



## 連結売上高の推移（四半期毎）



## 売上総利益の推移（四半期毎）

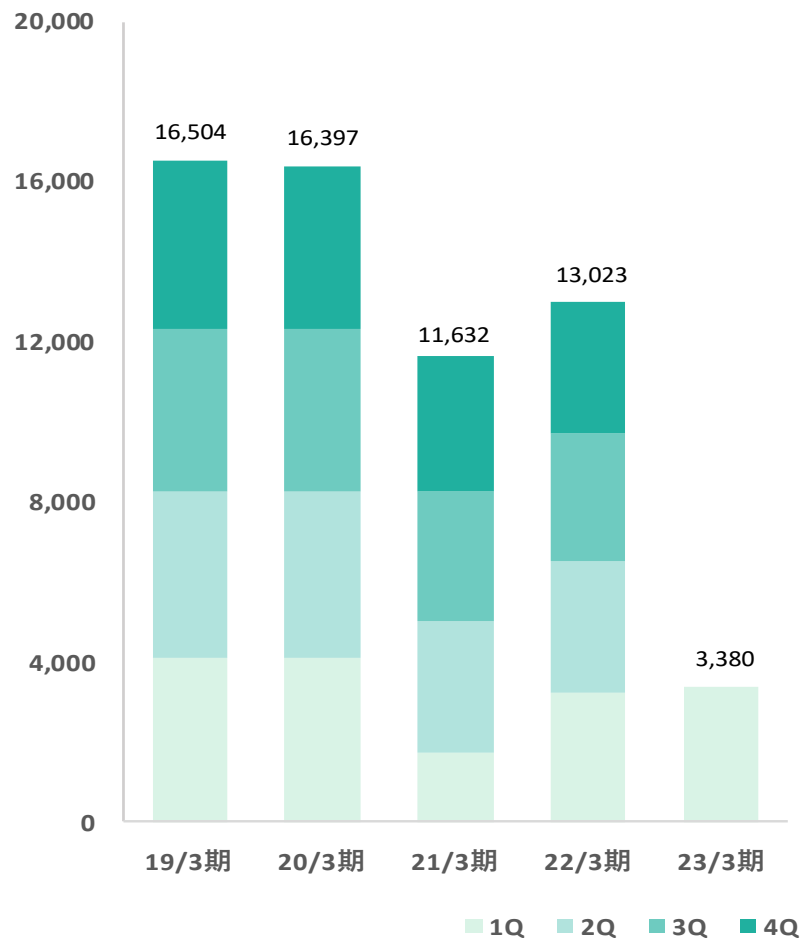


# 連結業績推移



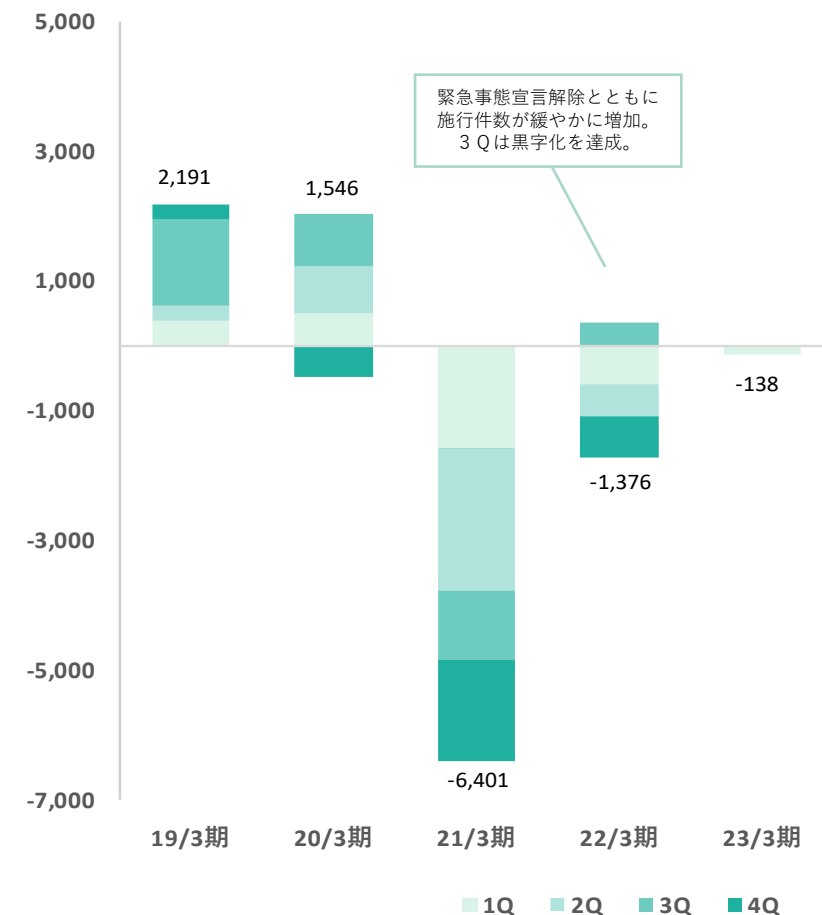
## 販管費の推移（四半期毎）

(百万円)



## 営業利益の推移（四半期毎）

(百万円)





# セグメント別業績の概要



単位：百万円	2022/3期 1Q実績	2023/3期 1Q実績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	5,219	5,517	298	5.7%
ブライダル	4,224	5,015	791	18.7%
建築不動産	994	501	△493	△49.6%
営業利益	△590	△138	452	—
ブライダル	△357	171	528	—
建築不動産	11	△106	△118	—
調整額	△244	△203	41	—

※セグメント売上高は外部顧客への売上高（セグメント間の内部売上・振替高を含まない）

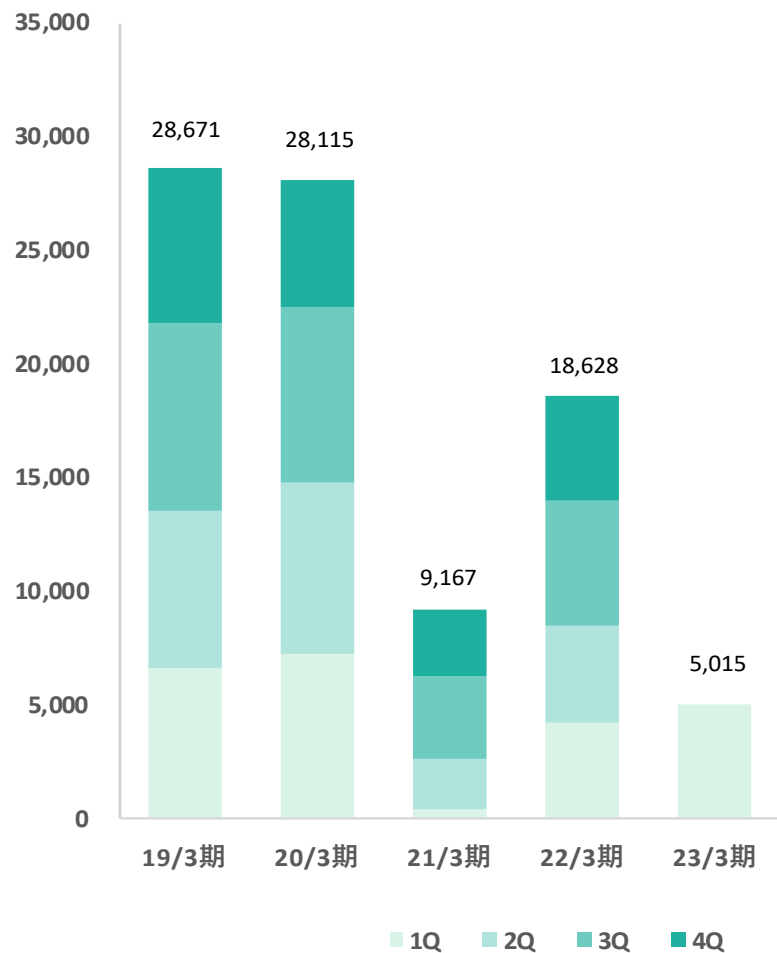


# ブライダル関連事業の状況



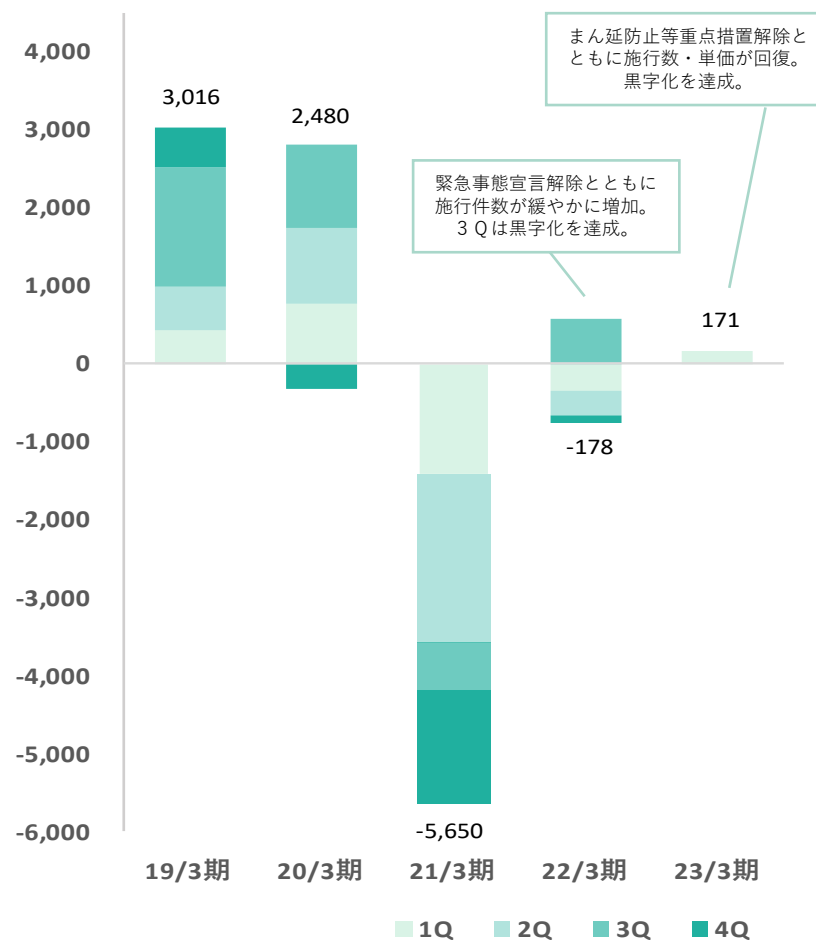
## セグメント売上高推移（四半期毎）

(百万円)



## セグメント利益推移（四半期毎）

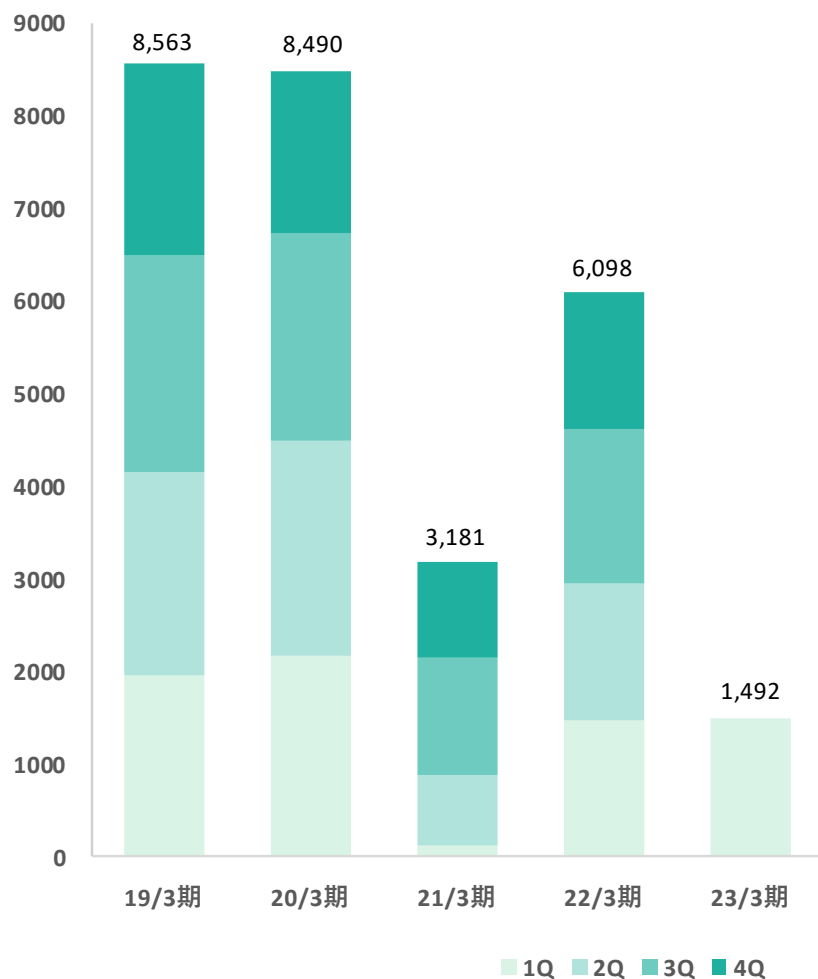
(百万円)



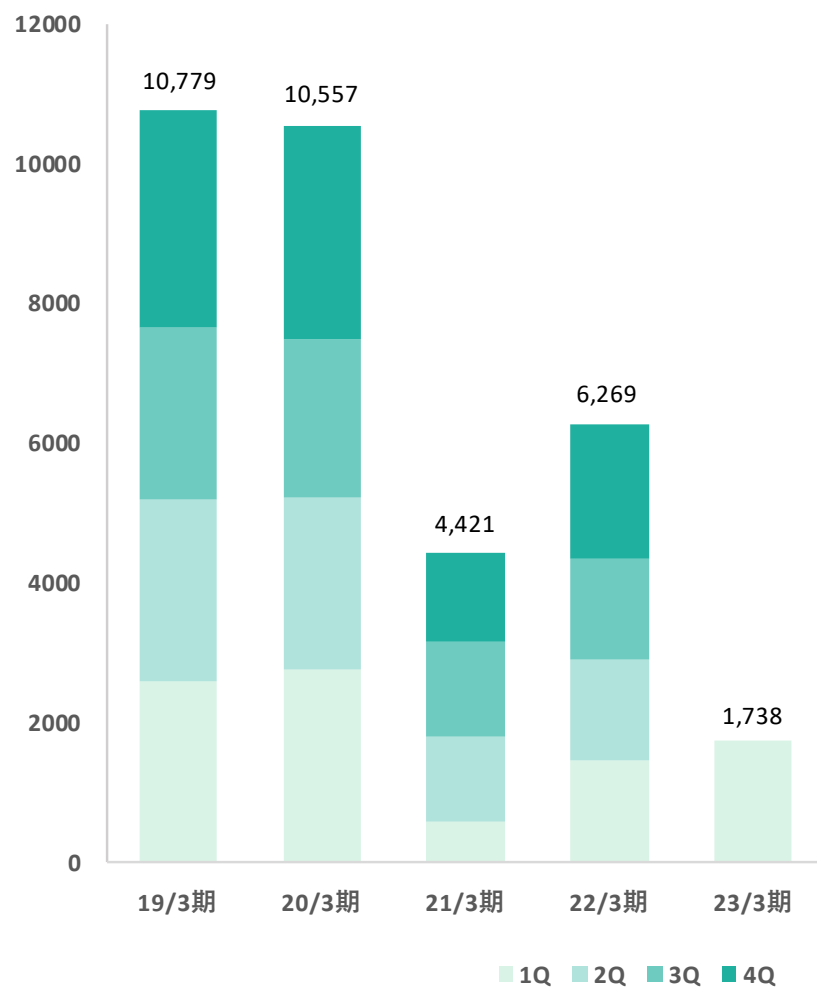
# ブライダル関連事業の状況



## 施行件数推移（四半期毎）



## 受注件数推移（四半期毎）



# 連結貸借対照表の概要



単位：百万円	2022/3期 期末	2023/3期 1Q末	増減
資産合計	24,584	23,293	△ 1,290
流動資産	8,247	7,286	△ 960
（現金及び預金）	6,124	5,381	△ 743
固定資産	16,337	16,006	△ 330
（繰延税金資産）	4,593	4,547	△ 45
負債合計	18,655	17,427	△ 1,228
流動負債	11,788	10,183	△ 1,604
（借入金）	6,446	6,397	△ 49
固定負債	6,867	7,243	375
（借入金及び社債）	3,924	4,309	384
純資産合計	5,928	5,866	△ 61
自己資本比率	24.1%	25.2%	-

## 資産

現金及び預金の減少	7.4億
受取手形、売掛金及び 契約資産の増加	1.0億
完成工事未収入金の減少	3.2億
建物及び構築物(純額)の減少	2.3億
繰延税金資産の減少	0.4億

## 負債

短期借入金の減少	0.3億
長期借入金の増加	3.8億
契約負債の減少	3.0億

## 純資産

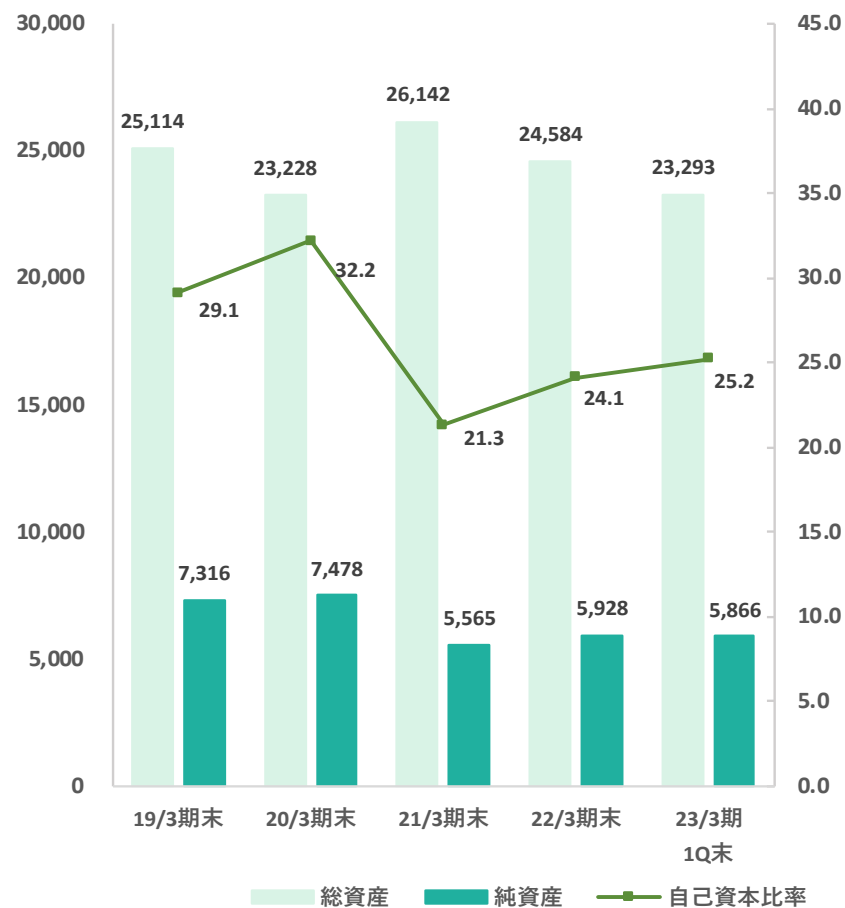
当期純損失の計上	0.4億
----------	------

# 財務状況の推移



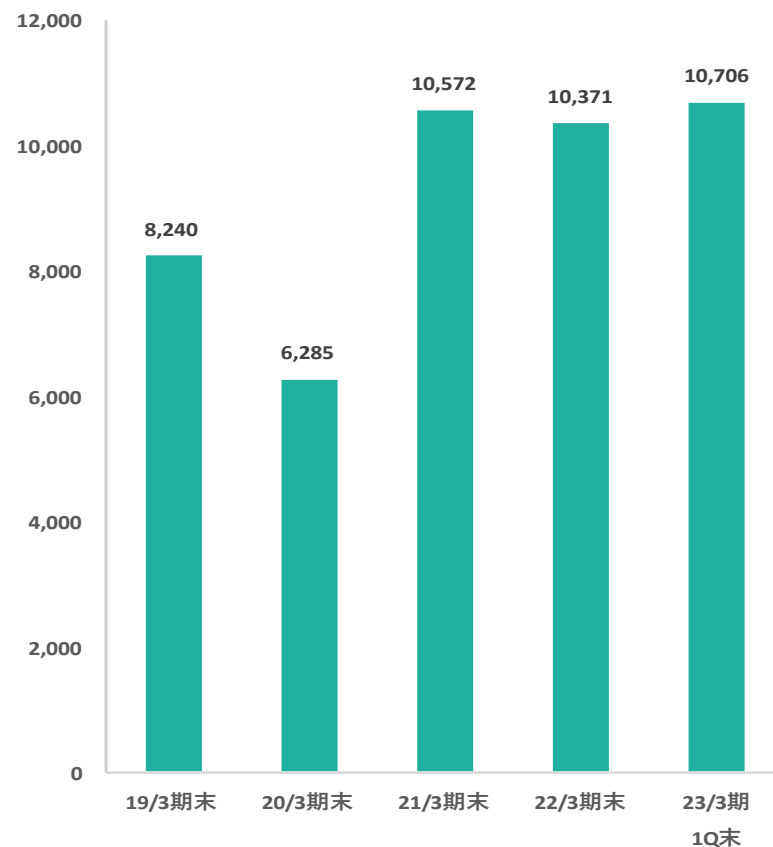
## 総資産・純資産・自己資本比率の推移

(百万円)



## 有利子負債の推移

(百万円)



※有利子負債：短期借入金、1年以内返済予定の長期借入金、長期借入金、社債の合計額

# 新型コロナウイルス対応（決算面）



## 資金調達状況

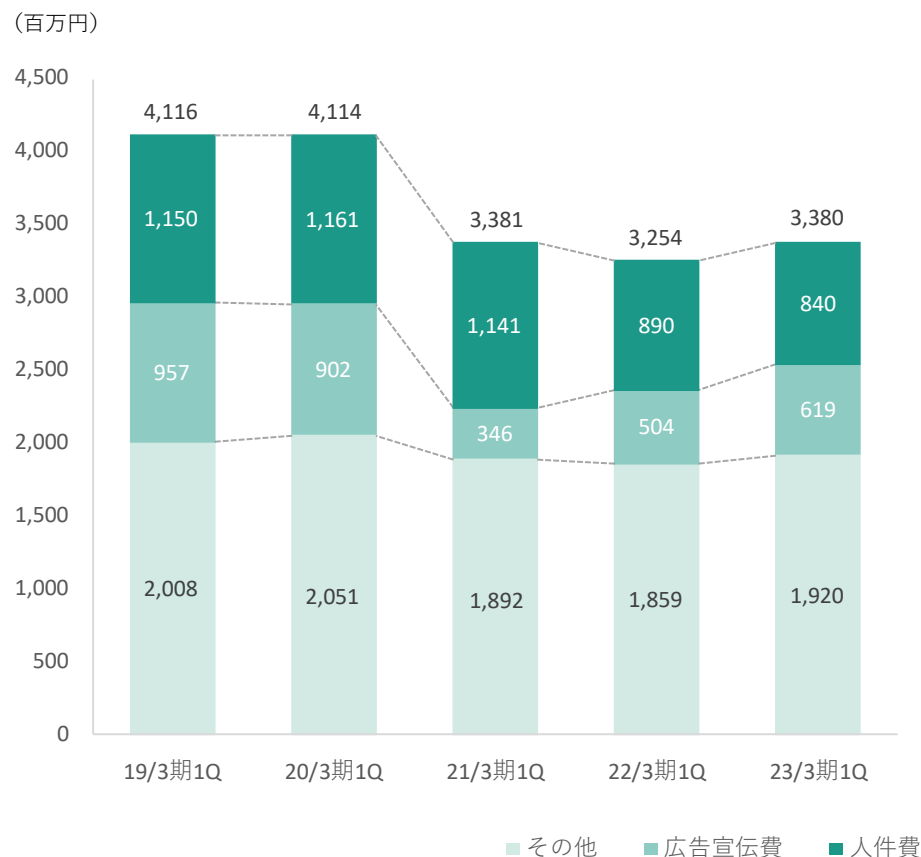
21/3期	金融機関からの借入（短期分&長期分）	54億円	▶	当面の運転資金を確保
	コミットメントライン契約締結	極度金額 60億円	▶	運転資金、対外的な信用力確保
	SBIホールディングスとの資本業務提携 第三者割当による新株式発行	6億円	▶	自己資本の毀損に対応
	三井住友ファイナンス&リースに対する 第三者割当増資による優先株式発行	30億円	▶	更なる自己資本の増強、 財務基盤の強化
22/3期	金融機関からの借入（短期分延長）	16億円	▶	コロナ影響長期化に備え 資金及び調達枠を確保
	コミットメントライン契約締結（延長）	極度金額 60億円		
23/3期	金融機関からの借入（延長）に加え 制度融資活用（長期分新規借入）	23億円	▶	更なるコロナ影響長期化に備え 資金及び調達枠を確保
	コミットメントライン契約締結（再延長）	極度金額 60億円		

当座貸越契約・コミットメントライン契約の未実行残高は34億円

現金及び預金は53億円と、十分な手元資金を確保

## コスト削減

- ・ コロナ前（20/3期）比較で20%弱の費用削減。
- ・ 売上増加に伴い、コスト額は増加したものの、引き続きコストコントロールを徹底。



### 人件費

- ・ 残業抑制、休業

※21/3期1Q：特別損失6.6億円を含めて集計

### 広告宣伝費

- ・ 媒体の出稿量コントロール

### その他

- ・ 家賃の減額交渉
- ・ 本社オフィス縮小移転
- ・ 収益性の低い店舗の退店

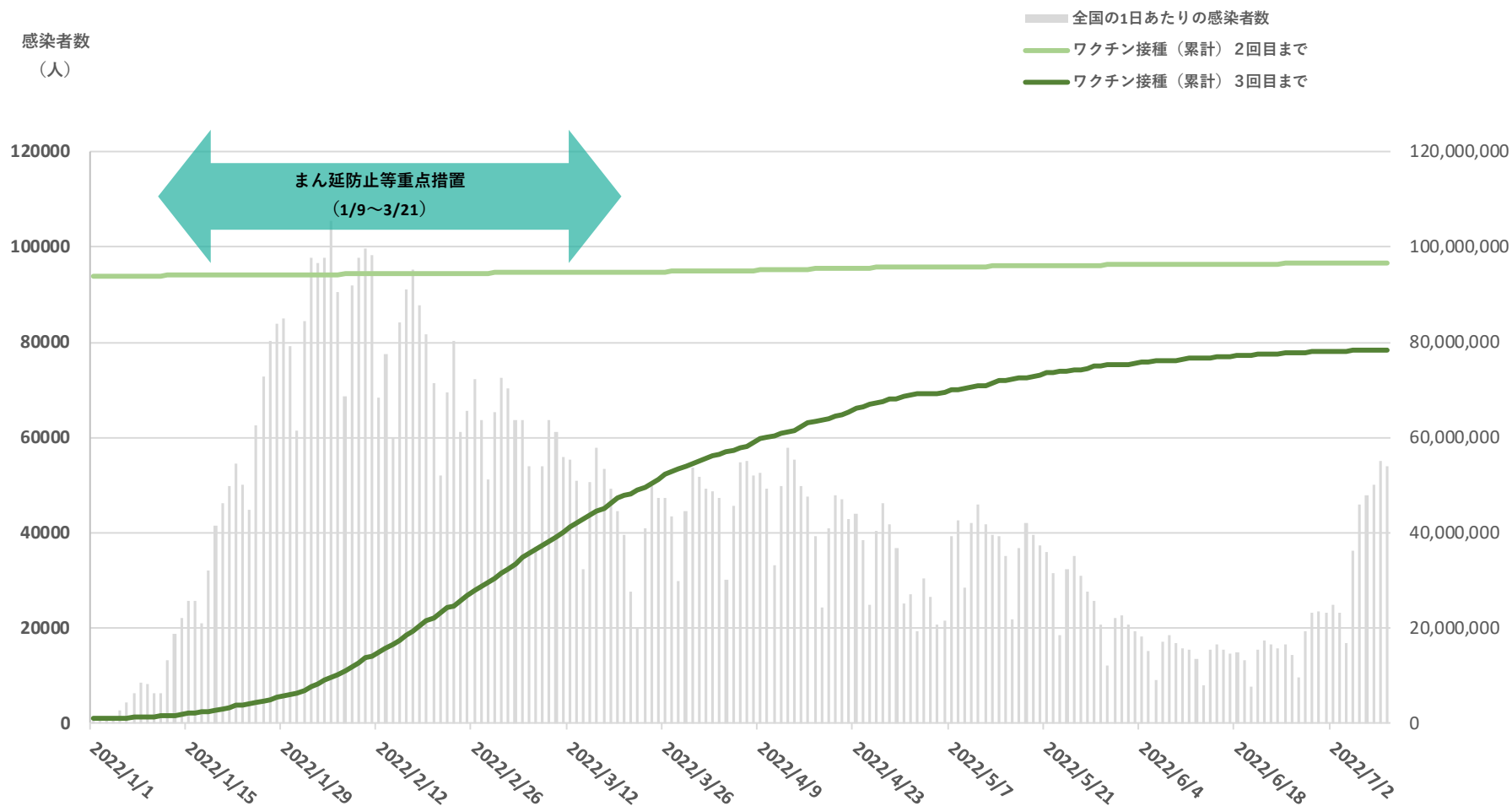
※21/3期1Q：特別損失9.7億円を含めて集計

## 2. 業績予想および今後の見通し



# 新型コロナウイルス感染者数・ワクチン接種数

- ・第1四半期は緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の発令は無く、感染者数は緩やかに減少。
- ・2022年7月以降はBA.5の影響で再度感染が急拡大。今後の制限要請次第で業績変動の可能性がある。



# 受注数・単価の推移

- ・ 第1四半期は、コロナ前の20/3期平均と比較して、受注数は80%弱、単価は90%強の水準まで回復。
- ・ 第1四半期は、緊急事態宣言等の発令がなく酒類提供等の制限が緩和されたため単価が良化。

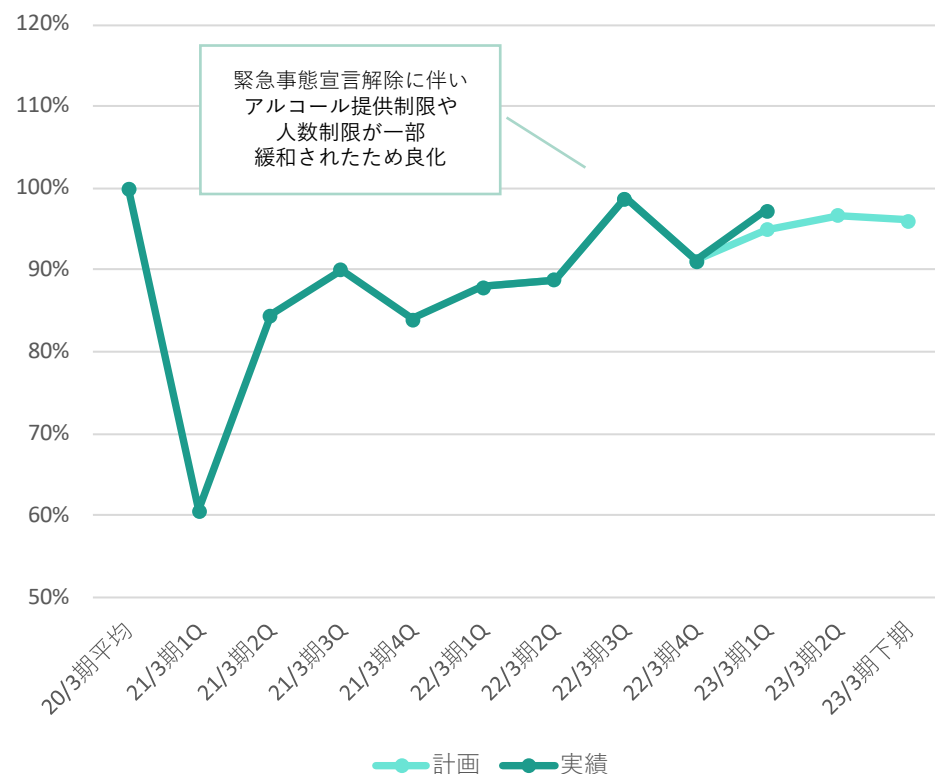
## 受注数推移 ※

(20/3期平均値を100%とした場合)



## 単価推移

(20/3期平均値を100%とした場合)



※成約数からキャンセル数を控除して算出したものを受注数と定義

# 2023年3月期 連結業績予想



- ・新型コロナウイルス感染症による影響は引き続き受けるものと仮定。
- ・21/3期に実施したコスト削減（P.14参照）を同水準で維持しつつ、受注数回復による施行件数増加や単価の回復により、営業利益は対前年18億円の増加を見込む。

単位：百万円	2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比 増減率	2023/3期 1Q実績	当期計画 進捗率
売上高	22,242	25,741	15.7%	5,517	21.4%
売上原価	10,594	11,614	9.6%	2,274	19.6%
(原価率)	47.6%	45.1%	—	41.2%	—
売上総利益	11,647	14,126	21.3%	3,242	23.0%
販売管理費	13,023	13,626	4.6%	3,380	24.8%
営業利益	△ 1,376	500	—	△ 138	—
経常利益	△ 458	500	—	8	1.6%
当期純利益	477	300	△37.1%	△ 45	—

## 3. 2023年3月期の取り組み

## ニューノーマル時代の働き方に合わせ本社を移転

- ・ オフィススペースを縮小し、さらなるコスト削減を実施。
- ・ 新型コロナ感染拡大が落ち着いた後も従業員の働きやすさ、営業効率向上の観点からテレワークを継続。
- ・ オンラインコミュニケーションツールの拡充やペーパーレスへの移行を実施。

### ◆移転先

東京都中央区日本橋小網町6-1  
山万ビル

### ◆移転時期

2022年8月1日



## 2023年3月期の取り組み

Esprit

### 『GOOD WEDDING AWARD 2022』 準グランプリ受賞

リクルートブライダル総研が主催する「いい結婚式」のプランニングコンテスト『GOOD WEDDING AWARD 2022』にて「ラグナヴェールアトリエ」に所属するウェディングプランナーの佐藤彩香が準グランプリを受賞。



プランニング力向上を目的とした取り組み“Thank you Story”の社内表彰を続けてきた結果、社外のコンテストにおいても高評価を獲得。 ※P.32参照





## 来店不要！フル・オンライン・パッケージの運用を開始

～結婚式準備を安心・快適・時短に～

- ・会場見学から結婚式当日までオンラインで完結。
- ・会場は360度バーチャル見学が可能。
- ・遠く離れた地域や複数拠点からも気軽に相談可能。
- ・少人数向け結婚式サービス「ルクリアモーレ」、  
リゾート結婚式「セントレジェンダ沖縄」にて運用開始。



### ■ ウェディングプランナーの働き方改革との関連性 ■

時間や場所にとらわれない柔軟な働き方であるテレワークと「フル・オンライン・パッケージ」を組み合わせることで、業務効率化に寄与し生産性が向上。産休・育休明けなど、時間や働く場所の制限によって諦めざるを得なかったスタッフもプランナーを続けることが可能となり、持続可能な働き方の推進にも繋がる取り組み。



# 2023年3月期の取り組み

## ウェディング・テック (“Wedding × Technology”)

### ◆ 「アニクリWEB出欠返信」 機能をリリース

- ・ 招待状は紙で発送、返信はWEBページを利用。
- ・ ゲストの出欠席やパーソナル情報の一元管理が可能。
- ・ 格式やおもてなしの日本文化は守りつつ  
一部デジタル化を取り入れることで利便性が向上。



### ◆ 「アニクリWEBご祝儀」 5000万円突破！

- ・ オンラインでご祝儀の受け渡しができるサービス。
- ・ 2022年5月にご利用累計額が5000万円を突破。
- ・ 「アニクリWEB出欠返信」と連動し機能をアップデート。



### ◆ 「アニクリLive」 1000組突破！

- ・ 自社開発した結婚式専用のライブ配信サービス。
- ・ 2022年7月に受注累計組数が1000組を突破。

# 新型コロナウイルス関連施策

## 感染症拡大防止への取り組み

「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン（結婚式場業）」を踏まえ  
お客様と従業員の安全・安心を第一に考え「[ESCRIPT NEW STANDARD](#)」を設定し取組実施

### 従業員の取り組み

- ・ お客様のご希望に合わせ、リモートによる打ち合わせを実施
- ・ 手洗いうがい、手指のアルコール消毒を徹底
- ・ ご案内時のマスク着用
- ・ 健康状態確認、検温の徹底
- ・ 従業員の在宅勤務および自宅研修を実施



### お客様へのお願い

- ・ ご来館前の体調確認
- ・ 検温、マスクの着用、アルコールによる手指の消毒
- ・ 密集を避けるため来館のご予約制



# 新型コロナウイルス関連施策

## 感染症拡大防止への取り組み

### 館内衛生への取り組み

- ・ 館内共用部の消毒の強化
- ・ 館内の定期的な換気
- ・ 全施設に細菌・ウイルスを不活性化する空調フィルターを設置
- ・ オリジナルパーテーションの導入
- ・ サーモカメラの設置
- ・ ゆとりあるテーブルレイアウト



### オリジナルのウェディングマスクを製作

結婚式に関わるコンテンツを内製化しているデザインノウハウと子会社である渋谷の生産背景を活かしオリジナルマスクを製作運営するECサイト「アニクリオンラインストア」にて一般販売



## 4. 補足資料

### 会社概要

# 会社概要



商号	株式会社エスクリ
設立	2003年6月
本社所在地（移転後）	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町6-1 山万ビル
資本金	50百万円（2022年3月末現在）
上場市場	東京証券取引所プライム市場
上場日	2010年3月5日
取締役会長ファウンダー	岩本 博
代表取締役社長CEO	渋谷 守浩
従業員数	904名（2022年3月末現在、グループ全体）
事業内容	挙式・披露宴の企画・運営を行うブライダル事業
ホームページ	<a href="https://www.escrit.jp/">https://www.escrit.jp/</a>

## 大都市を中心に30施設を運営

■福井県  
グランシャリオ/シャルム・ド・ナチュラル  
アヴェール・ブランシェ

■石川県  
ラグナヴェール KANAZAWA

■大阪府  
ラグナヴェール PREMIER  
ラグナヴェール OSAKA

■広島県  
ラグナヴェール広島

■福岡県  
アルマリアン FUKUOKA

■沖縄県  
セントレジェンダ OKINAWA

■兵庫県  
ア・ラ・モード・パレ&ザリゾート  
ラヴィマーナ神戸

■徳島県  
渭水祥雲閣

■宮城県  
ラグナヴェール SENDAI

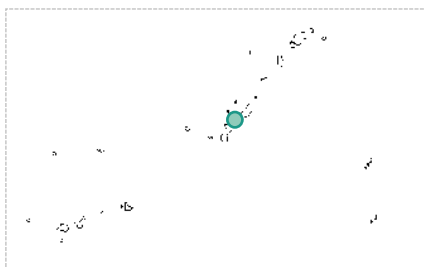
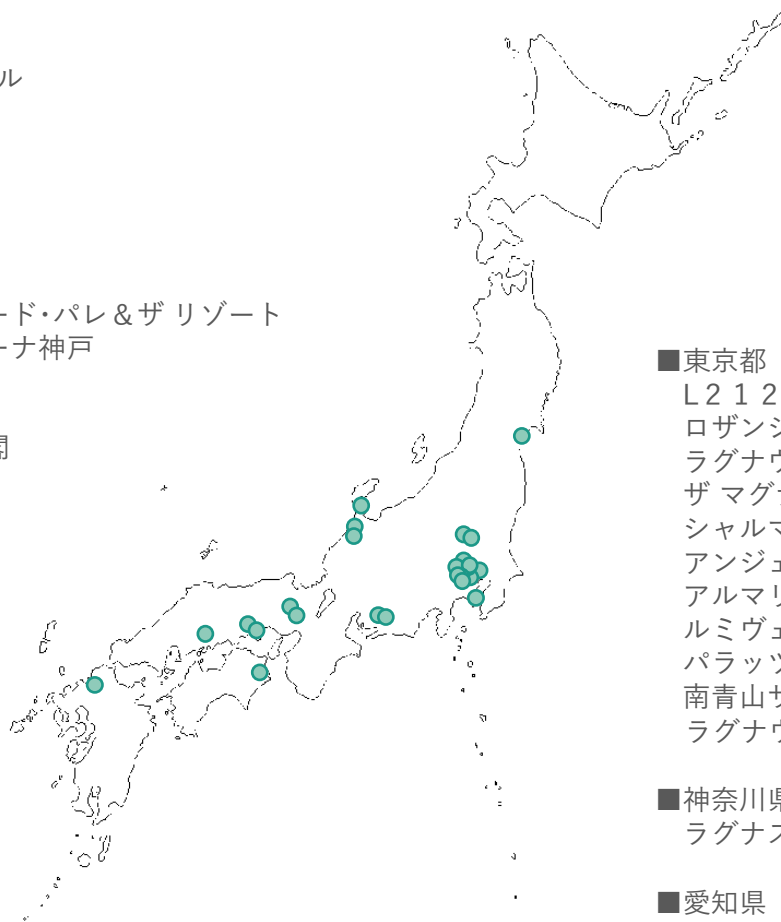
■栃木県  
ラ・ポルト  
ザ・ライブラリー

■埼玉県  
ラグナヴェール Sky Terrace

■東京都  
L2 1 2 6  
ロザンジュイア広尾迎賓館  
ラグナヴェール TOKYO  
ザ マグナス TOKYO  
シャルマンシーナ TOKYO  
アンジェリオン オ プラザ TOKYO  
アルマリアン TOKYO  
ルミヴェール TOKYO  
パラッツォドゥカーレ麻布  
南青山サンタキアラ教会  
ラグナヴェールアトリエ

■神奈川県  
ラグナスイート新横浜 ホテル&ウェディング

■愛知県  
ラグナスイート名古屋 ホテル&ウェディング  
ラグナヴェール NAGOYA





## 社名の由来 “Staff Create”

人財力をコアバリューとし、多様なスタッフが能力や専門性を最大限発揮して、高収益のビジネスモデルを構築。この業界を勝ち残っていきたいという想い。

## エスクリのビジョン “Faithful Bridal Creator”

エスクリが創っていくのは、真摯で、信頼できるブライダル。  
ハードに頼らず、ソフトの力を信じ、ビジネスの本質を、真摯につきつめる。  
信頼できるスタッフ、信頼できる商品、信頼できるチームで、顧客の期待を超えていく。  
顧客、社員、会社の満足を、大きく広げ、世の中に新しい価値を示すことで、  
真摯なブライダルビジネスを、創りたい。  
新郎新婦に関わるすべての人からの「おめでとう」と、  
新郎新婦からの「ありがとう」であふれた、  
記憶に残る結婚式を、創りたい。  
それが、私たちの誇りであり、喜びなのです。

## エスクリのミッション “CHANGE Bridal”

良い文化は継承し、新しい文化を取り入れつづけることで

### 結婚式があふれる世の中に

<取り組み事例>

- ブライダル専門コールセンターの立ち上げ
- 内製化（ワンストップサービス）の取り組み
- ビルイン結婚式場
- 異業種とのコラボレーション
- 年間休日120日を実現、施設内託児所設置 etc.



## ウェディングコンセプト “All for Thank you”

挙式当日の会場は、新郎新婦様から親御様やご友人など大切な方へのさまざまな「ありがとう」で包まれます。エスクリでは、おふたりの「ありがとう」の想いを受け、すべてのスタッフがチームとなって新郎新婦様の結婚式を創ります。

## ありがとうの物語 “Thank you Story”

ウエディングコンセプト“All for Thank you”に沿って創り上げた最高の結婚式を  
“Thank you Story”に纏め、プランニング力・スタッフ力向上を目的とした社内表彰を実施。  
リクルートブライダル総研主催「GOOD WEDDING AWARD」においても高い評価を受ける。

GOOD WEDDING AWARD 2022

準グランプリ



『WEDDING LIVE  
～届け！結婚式が大好きな  
あなたへのエール～』

GOOD WEDDING AWARD 2020

グランプリ



チームの力を引き出す  
『GIFT-All for Thank you-』

GOOD WEDDING AWARD 2017

ソウル賞



『全員が楽しめる結婚式  
～目が見えるひと目が見えないひと  
同じ空間で～』

## 4. 補足資料

# ESG 関連



# 環境への取組

エスクリグループは社会的な問題解決のため、持続可能な開発目標(SDGs)に沿って私たちが出来ることをひとつひとつ考え、積極的に取り組んでいます。



ご来館頂いたお客様へお渡しする袋は紙製ではなくエコバックを使用しています



ドリンク提供時のストローはプラスチック製ではなく紙ストローを使用しています



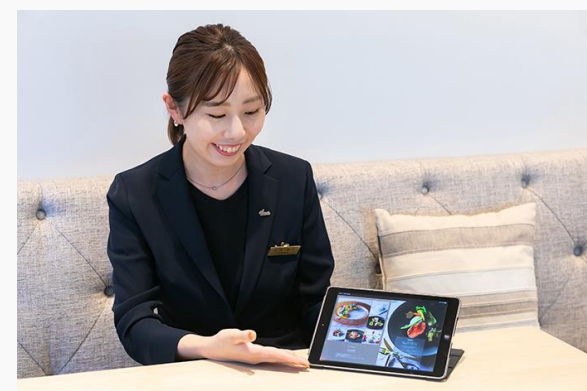
披露宴のお料理の食材は地産地消を推進していきます



環境にやさしいサステナブルな引出物商品をオリジナルで開発し導入しています



一部会場の家具及びディスプレイに地球環境に優しい古材を取り入れています

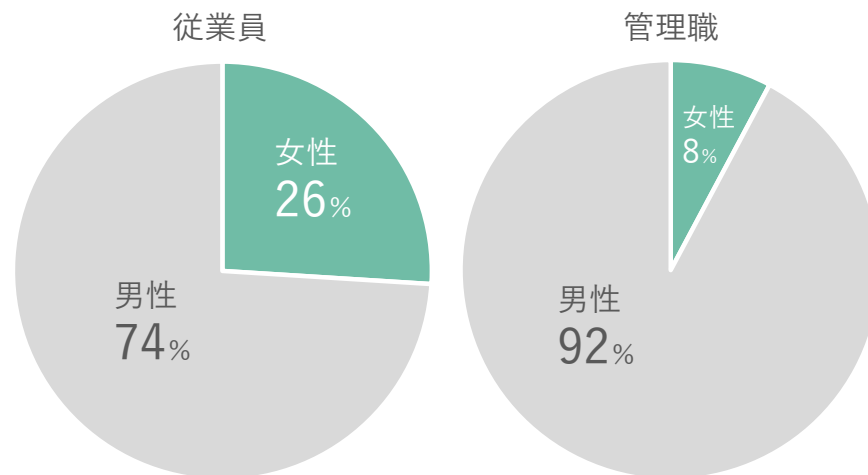
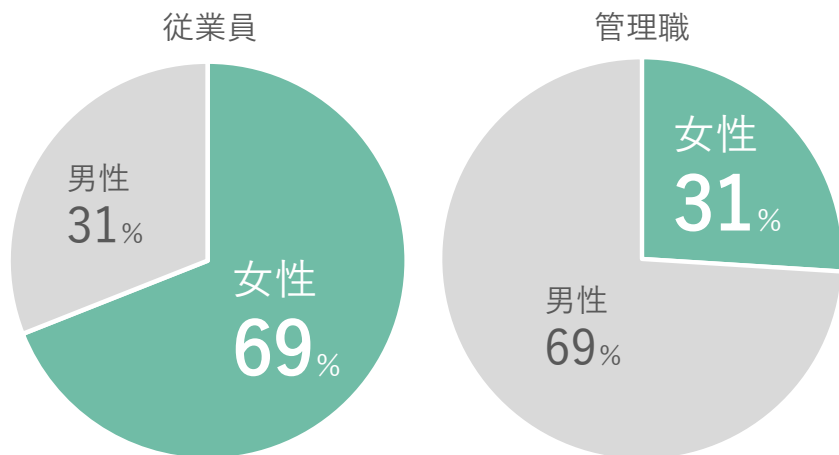


お客様へご提案時に使用する媒体をデジタル化しペーパーレスに取り組んでいます

## ◆女性活躍推進

エスクリ従業員  
男女比率  
(2022年3月末時点)

帝国データバンク  
「女性登用に関する意識調査(2020年)」より  
女性の割合



当社の女性従業員数は

全国割合の**約2.5倍**

管理職は**約4倍**

# 社会への取組

## ◆各種認定

2018年～

女性活躍推進の状況が評価され

厚生労働大臣より 「えるぼし」 を認定



2021年

子育て支援についての取り組み状況が評価され

厚生労働省より 「くるみん」 に認定



2020～2022年

健康経営推進のための取り組みが評価され

経済産業省と日本健康会議より

「健康経営優良法人（大規模法人部門）」 に認定





## 4. 補足資料

# 市場動向

2020年 婚姻組数

約52万組

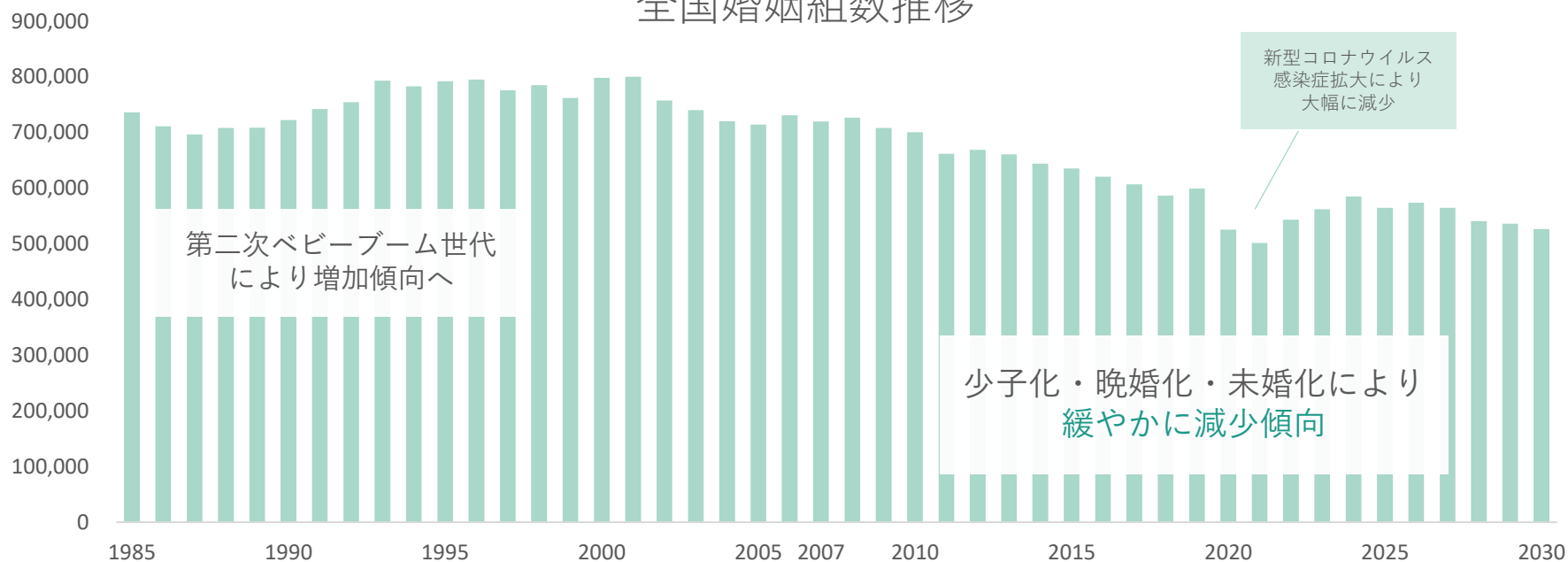
※コロナ影響により前年比7.3万組減

2020年 婚姻率

4.3%

※コロナ影響により前年比0.5%減

## 全国婚姻組数推移



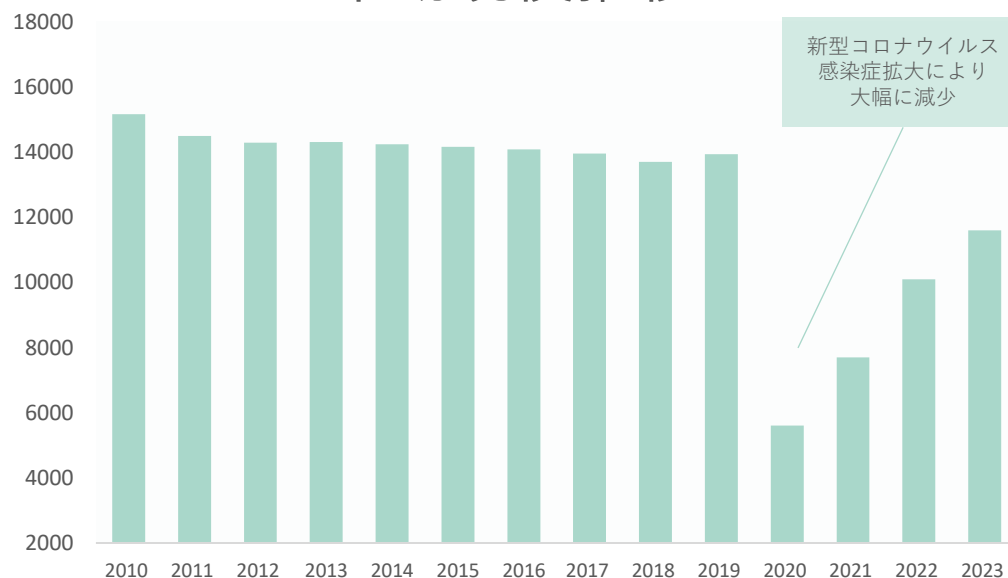
挙式・披露宴市場規模

約1.39兆円

※2019年の数値

※2020年は新型コロナ影響により約0.56兆円

## 市場規模推移



新型コロナウイルス感染症拡大の影響により

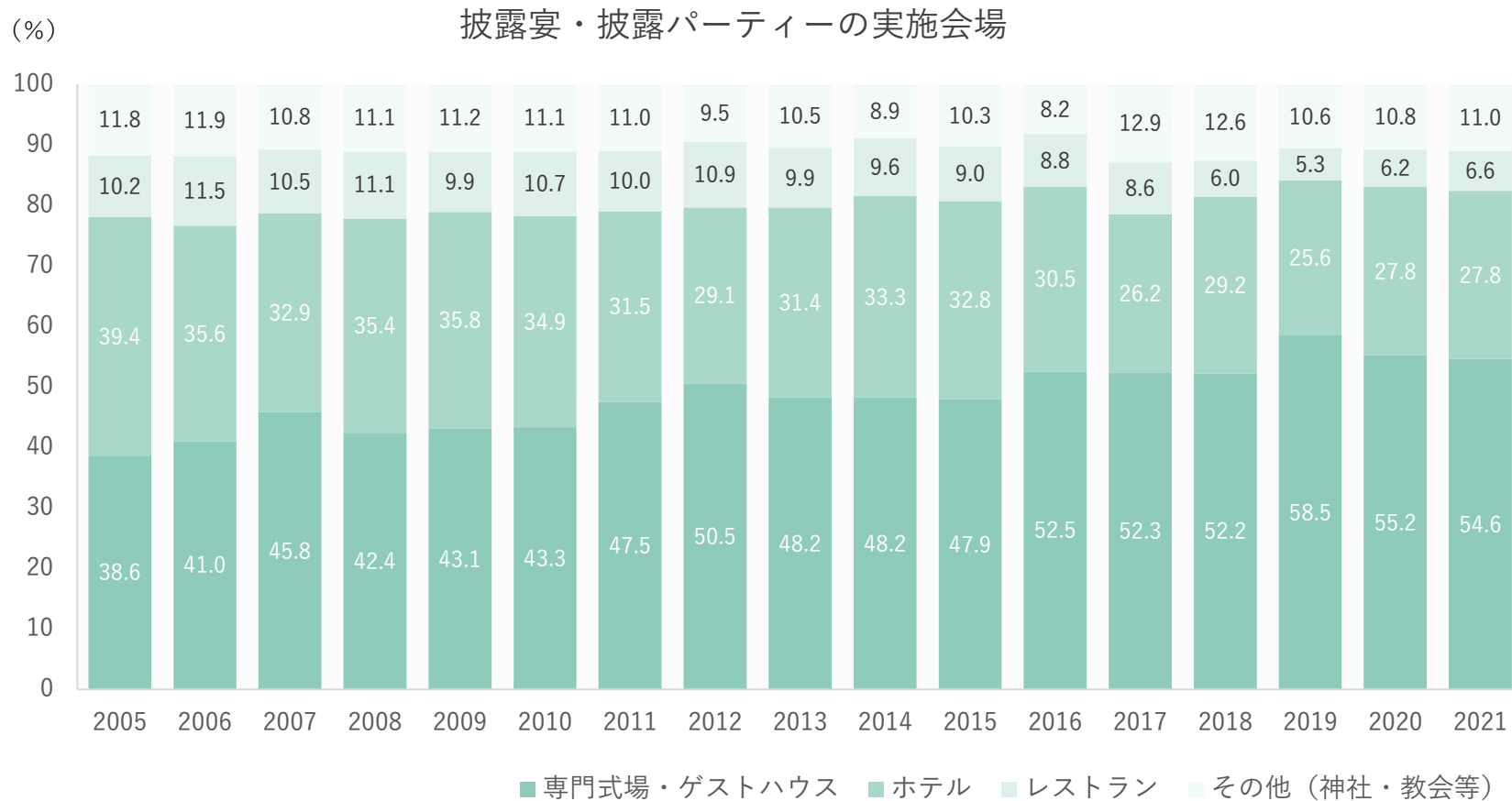
一時的に市場規模が縮小したものの、1兆円強の市場規模へ回復していく見通し

出典：ブライダル産業年鑑2022（矢野経済研究所）

# 市場動向 タイプ別シェア推移



ホテル婚シェアが徐々に減少  
 専門式場・ゲストハウスが右肩上がりに



出典：リクルートブライダル総研結婚トレンド調査全国・首都圏2010-2021

# 市場動向 ブライダル業界の市場シェア

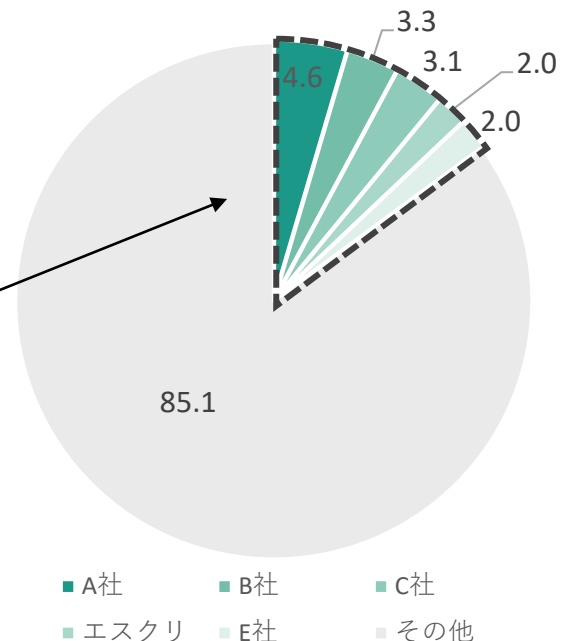


ブライダル業界売上高  
上位5社が市場に占める割合

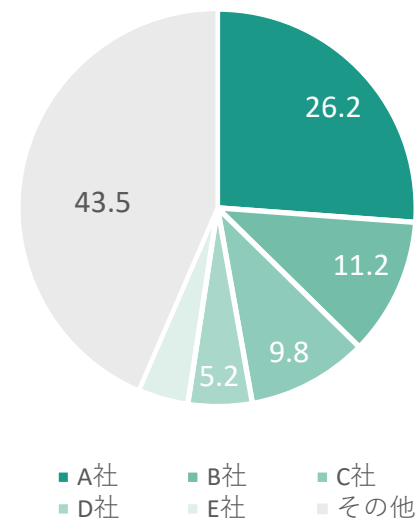
14.9%

※上場企業上位5社の売上高合計

(出典：2019年版 ブライダル産業年鑑、  
各社ホームページ)



ファミリーレストラン市場 56.5%  
※ブライダル業界と市場規模が近い比較対象とする



ブライダル業界は他業界と比較して圧倒的シェアを持つガリバー企業が不在  
→シェア拡大の余地有り

## 4. 補足資料

# エスクリの特徴

*Escrit*

事業

# エスクリの強み



## 独自の出店戦略による店舗拡大と

## 他社とのアライアンスにより、成長し続けてきた

### 独自の出店戦略

1. 都市型出店
2. ビルイン施設

×

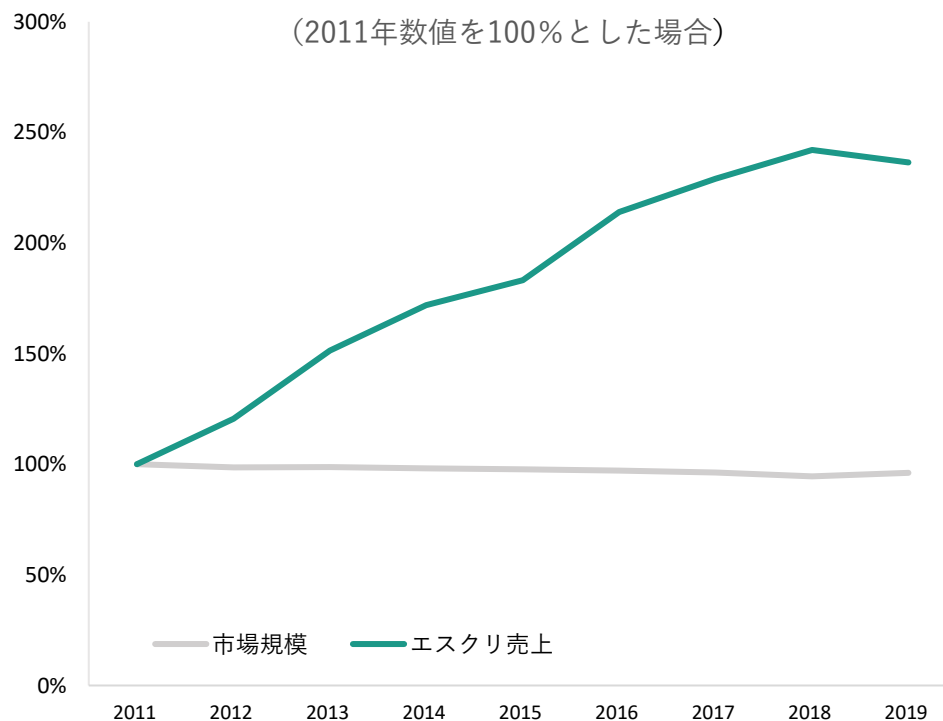
### 他社とのアライアンス

1. M&A・資本業務提携
2. コラボレーション



市場規模推移 vs エスクリ売上推移

(2011年数値を100%とした場合)



※出典：2021年版プライダル産業年鑑、プライダル産業年鑑2018年版



*Esprit*

出店

## 都市に特化した立地戦略×ビルイン出店により継続的な出店に成功

### 1. 都市型出店

市場縮小リスク・顧客ニーズに対応

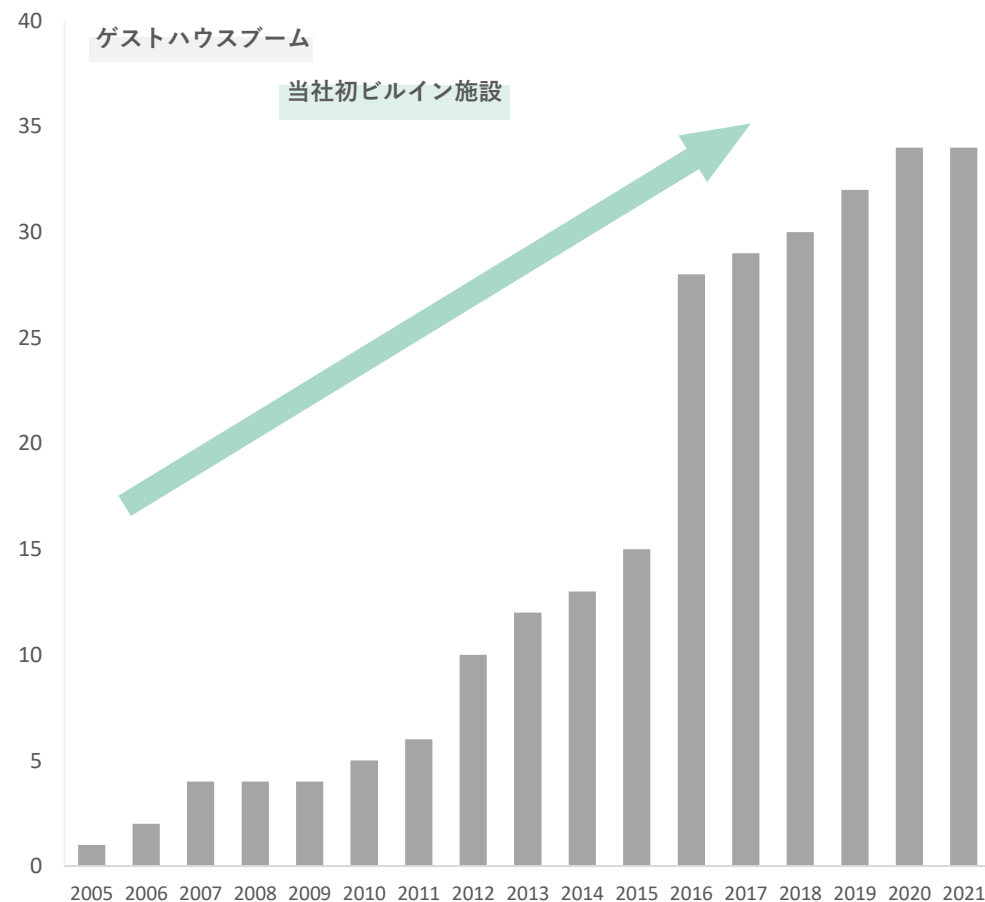


### 2. ビルイン施設

大都市への出店が可能



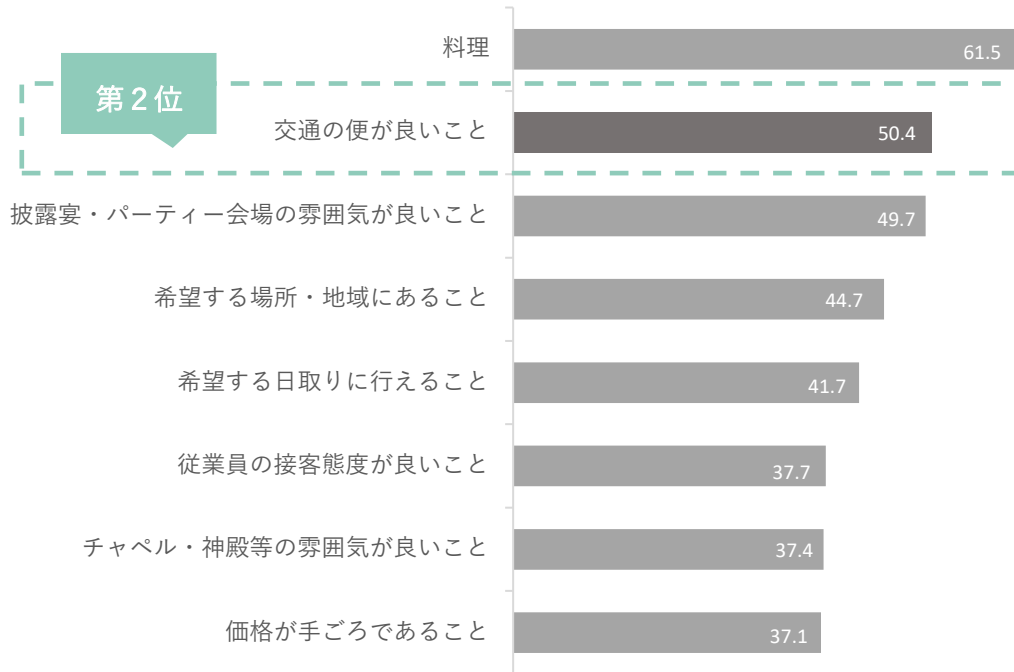
当社施設数推移



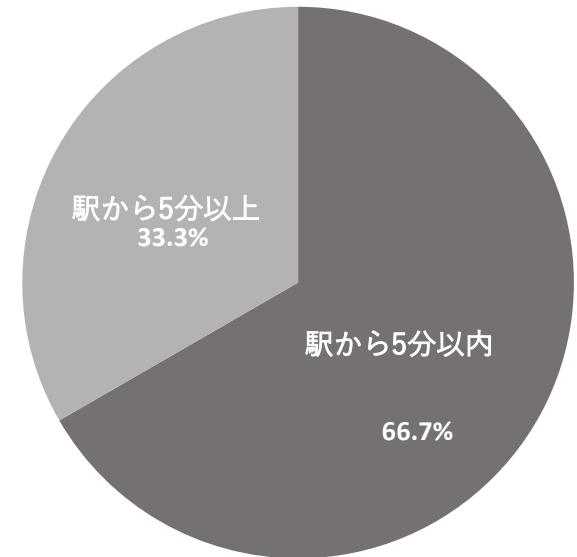
# 出店1. 都市型出店

## 顧客ニーズに寄り添う好立地戦略

### カップルが挙式・披露宴会場の決定時に重視する点



### 最寄駅からのアクセス (当社国内30施設)



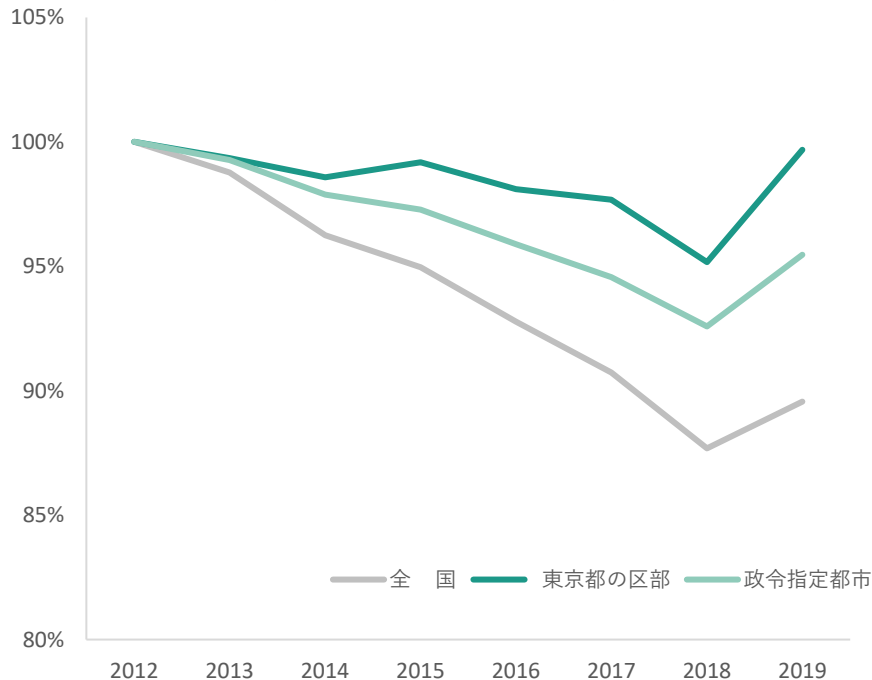
出典：ゼクシィ結婚トレンド調査2020

会場を決定するうえで、半数以上の顧客が「交通の便の良さ」を重視している  
**当社はアクセスの良さにこだわり駅近に多くの会場を展開**

# 出店1. 都市型出店

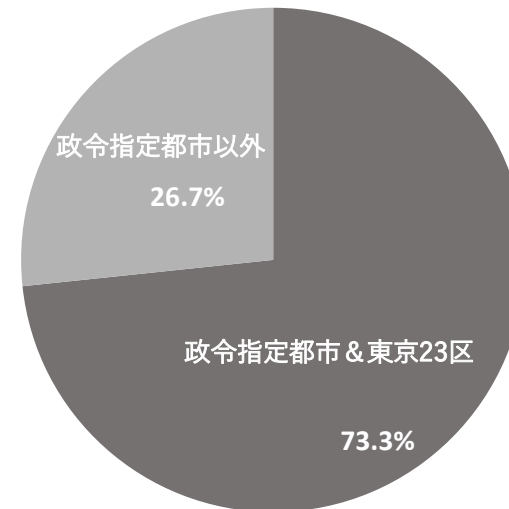
## 都市部への出店により 市場規模縮小リスクに対応

婚姻件数 増減率比較  
(2012年を100%とする場合)



出典：厚生労働省「人口動態総覧」

当社出店エリア  
(当社国内30施設)



東京23区	11
横浜市	1
さいたま市	1
仙台市	1
名古屋市	2
大阪市	2
神戸市	2
広島市	1
福岡市	1
上記以外	8

東京都区部・政令指定都市は婚姻件数の減少が緩やか  
**当社は都市部を中心に展開することで市場規模縮小の影響を抑制**

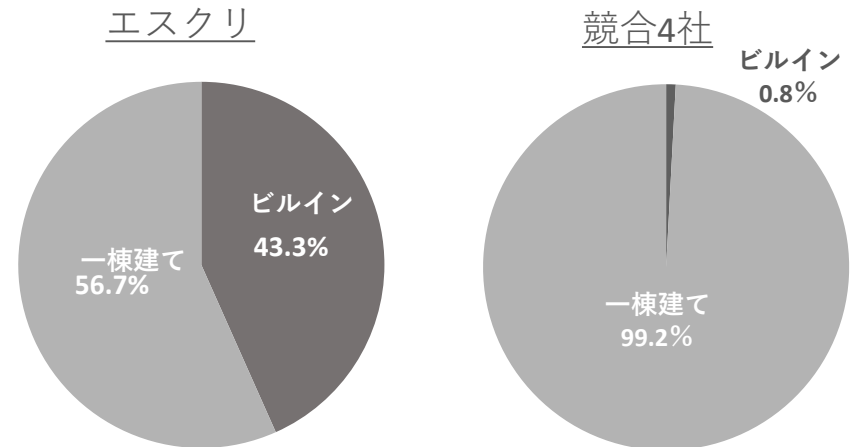
## 出店2. ビルイン施設

### ビルインでの店舗展開により好立地出店が可能に

- ・ 駅至近での出店が可能
- ・ 当社施設の約4割がビルイン  
 大手競合4社の119施設のうち、ビルインタイプは1施設のみ
- ・ 当社はビルインでの出店、オペレーションノウハウを蓄積



施設スタイル比較



# アライアンス

## 資本業務提携

### SBIホールディングスとの資本業務提携

Afterコロナでの収益力向上、中長期的な成長に寄与

- ・ CRM施策推進
- ・ ALAの販売
- ・ M&A戦略における連携



### ティーケーピーとの資本業務提携

With/Afterコロナ時代の新しい価値創出、収益力の向上を目指す

- ・ 当社婚礼施設の平日空き枠を販売
- ・ ティーケーピー施設の出店・工事等を受託
- ・ withコロナビジネス協同開発



## マイレージクラブ提携

### ANAマイレージクラブとの提携

結婚式総額に応じてANAマイルもしくはANA SKY コインを贈呈

### JALマイレージクラブとの提携

結婚式総額に応じてJALマイルを贈呈



## 異業種コラボによるWithコロナ施策

### 17MediaJapanとの提携

結婚式Live配信サービスを共同で開始



17 Media Japan

# 多数のアライアンス実績



## 大手企業、有名キャラクターと多数のアライアンス実績 = 当社のブランド力・信用

2015	ディズニー	ディズニー映画「シンデレラ」公開記念ブライダルフェア
2016	ANA	ANAマイレージクラブと提携
	ディズニー	ディズニー映画「アリス・イン・ワンダーランド／時間の旅」公開記念 ブライダルフェア プリンセス・ブライダルフェア
	サンリオ	ハローキティ&ディアダニエルブライダルフェア
	ディズニー	ディズニー映画「美女と野獣」公開記念ブライダルフェア
	カプコン	モンスターハンターブライダルフェア
2017	ディーゼルジャパン	南青山サンタキアラ教会限定の特別プラン『BLUE WEDDING BY DIESEL』
2018	JAL	結婚式費用をJALマイルに交換
2019	サンリオ	コラボドレス（ハローキティブライダルフェア）
2020	サンエックス	リラックマブライダルフェア
	SBI	資本業務提携
	ティーケーピー	資本業務提携、CIRQリリース
	17 Media Japan	結婚式Live配信
2021	エアトリ	オンライン旅行商品案内
	東映アニメーション	ONE PIECEブライダルフェア

※上記は当社アライアンス実績の一部を抜粋したものです



# アライアンス2. コラボレーションウェディング

## 沢山の人に愛されている世界観や キャラクターとのコラボレーションを数多く実施

ポケットモンスターブライダルフェア



©2021 Pokémon



©2019 Pokémon, ©1995-2019 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc.

リラックマブライダルフェア



©2020 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

ワンピースブライダルフェア



Produced by ESCRIT



©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション



4. 補足資料  
建築不動産事業

# 株式会社 渋谷

SHIBUTANI&Co.

デザインハウス、リノベーション提案、リゾート開発  
店舗・オフィス設計施工、世界各地の建材・古材販売など  
お客様のご要望に応じた建築不動産に関するソリューションをご提案

無印良品の家



ユーマーマンション事業



土木事業



店舗設計・施工



SHIBUTANI & Co. 株式会社 渋谷

<http://www.shibutani-group.co.jp>



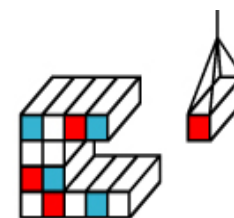
## 世界各地の建材・古材販売



## コンテナ事業

オーダーメイドの建築用コンテナの企画・販売・施工  
倉庫・トランクルーム・店舗・商業施設や住居向けのコンテナ  
を製作・販売など、様々な用途に対応可能

- ①建築基準法に則ったJIS鋼材を使用  
「日本の建築基準法に適合」
- ②ユニット建物特許法（特許第6029711号）取得  
「上下ユニットの連結で、独自の方法を開発し、特許を取得」



CONTAINER BANK.®





お問合せ先 株式会社エスクリ I R 担当  
東京都中央区日本橋小網町6-1 山万ビル

URL : <https://www.escrit.jp/ir/>

E-mail : [ir@escrit.jp](mailto:ir@escrit.jp)

本資料に掲載されている事項は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。  
本資料に含まれる将来の予想に関する各数値は、資料作成時点で入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、  
将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。